

新川会通信

第62号



新川会ホームページ

すまいる

発行
社会福祉法人新川会〒930-0362
上市町稗田字七郎谷 1-32
Tel (076) 472-1118
Fax (076) 472-5391
E-mail yotsubaen@niikawakai.jp
HP http://www.niikawakai.jp/

発行責任者 山岸 親史

令和8年6月7日
いっちゃんリレーマラソン

天災の節目に「しあわせ」について考える

理事長 山岸 親史

今年は昭和百年目に当たるとのことですが、一九九五年に起きた阪神・淡路大震災から三十年目でもあります。衝撃的な映像は今も目に焼き付いています。たまたま、その年から始まったスクールカウンセラー制度は、関西地区の学校に重点的に配置され、「心のケア」が話題になったものです。

それから十五年後の二〇一一年三月には東北大震災が勃発しました。原発事故や東北地区の壊滅的な状況の中で、瀬戸内寂聴の「利他の心」は死にゆく人が残された人に思いを託す現実的な話として伝わってきました。

その五年後には熊本地震、さらに二〇二四年には能登半島地震が起きて、富山でも相当な被害が発生したのはご存じのとおりです。一月四日、四ツ葉園の倉庫に入っていた非常用物資を積んで金沢の集積地に向かいました。物資を受け取ってくれたスタッフはその後、崩れた壁の下敷きになり亡くなられたと聞きました。職場からは応援職員も派遣してきましたが、二年間経過してようやく落ち着きが戻ってきたようです。ここでは今も、被災地の中のコミュニケーションが問題となっています。

こうした天災が起こるたびに日本では、再生に向けての前向きな活動が繰り広げられ、人々の「心の有り様」が話題になります。

しかし、二〇二〇年以降、新型コロナウイルスのパンデミックや、SNSの爆発的普及により、物事の本質よりも大衆操作的なファイルタイパル時代が到来し、社会の様相は大きく変わってきています。全てが過激に白黒付ける評価に振り回されて、いとも簡単に戦争が起ったりしているように、最近では、何が幸せか分からなくなってきました。

私は、福祉活動もこうした過激な風潮と無縁ではないと感じています。ちょうど二〇〇〇年頃を境に、福祉は「自立と支援」一色になってきました。自立とは「自己決定に基づいて主体的な生活を営むこと」、「障害を持ってもその能力を活用して社会活動に参加すること」の意味としても用いられています。しかし、国の方針はそれとしても、「地域移行」イコール「幸せ」とは限りません。そもそも、私たちは自立できるほど強いのでしょうか。特に日本人は、良い意味で相互依存的なのではないでしょうか。

さて、改めて「しあわせ」とは何でしょうか。ある哲学者は生きるこの可能性をもっと少し具体的に三つの要素で表わしています。

新しい人々との関係
社会的な活動
趣味や楽しみ

こうしたことが自然に追求できれば、生活の場がどこであれ、しあわせなのではないでしょうか。

「明るい笑顔があふれるところ」を大切にしていきたいでしょう。

四ツ葉園だより



地域移行

地域移行 ～地域への一歩を、共に歩みながらサポートします～



**意向確認
個別支援計画作成**

『誰と、どこで、どんな暮らしがしたいか』を
ご本人と一緒に話し合い個別支援計画に
反映します

振り返り

体験の様子や、感想等をご本人と一緒に振り返ります

**利用者様
の想い**

體驗 1

買い物や理美容、
公共交通機関利用、
公民館活動参加等の社会体験

體驗2

グループホーム等見学や宿泊体験、
他の生活介護事業所等の
見学や体験



雷鳥苑だより



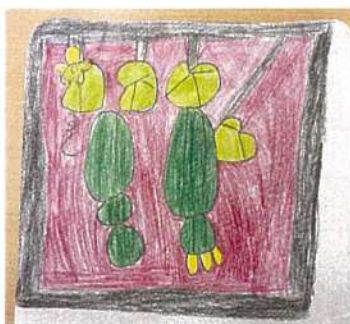
ヘチマ栽培

雷鳥苑の今年度取り組み事業は、ヘチマを使用した自主製品作りです。ヘチマの実の中の繊維部分でつくるたわしや、ヘチマ水から石鹸等の製品に加工します。

昨年度から雷鳥苑でヘチマを栽培し始め、二年目になります。雷鳥苑の代表作品になるよう種から大切に育てています。

多くの人に使ってもらえる製品として、試行錯誤しながらチーム一丸となって取り組んでいきたいと思っています。

(網谷支援員 記)



『絵：O.Mさん 色：T.Rさん』



さつき苑だより



利用者さんの
新しい
作業
新たな能力に
出会う

NEW

(株)アスコさん

ジャガイモの皮むき



新たな取り組み

令和八年一月より(株)アスコさんのジャガイモ皮むき作業を開始しています。ピーラーを使いジャガイモの皮をむいています。

いざ始めてみると

最初は利用者の皆さんが作業に抵抗がないのか、環境の変化に適應できるか心配していましたが、いざ始めてみると、職員の心配をよそにすんなり作業を開始されました。

作業手順を工夫しながら、個数をこなすと共に皮むきの技術も上がってきました。今では一日百kg以上の納品をしています。

利用者の可能性を大切に

様々な作業を通し、一人一人の新たな能力を引き出すと共に、皆さんの真摯に作業に取り組まれる姿勢を大切にしていきたいと思っています。



(河合支援員 記)

つつじ苑だより



こんなことに取り組みます！ 2026年

放課後等デイサービス

今年度から新しい仲間二名を迎えて、毎日賑やかな日々を過ごしています。今年度は大人の利用者さんと合同で、月に一回ミュージックケアを企画しています。長期休み以外でも大人の利用者さんと交流する機会を設けることで色々な刺激を受けて成長に繋がっていきたいです。

(宮本主任支援員 記)

生活介護

「みんなで仲良く散歩に行こう!!」利用者さんが考えた活動として、天気の良い日は散歩に出かけています。行先は「スポーツ健康の森」や「柿の木公園」「中滑川駅」など。風を感じて、いろんな道を歩いて、おしゃべりしたり、電車に歓声をあげたり。公園で運動もして、皆さん笑顔で楽しまれています。

(飯野支援員 記)

就労支援B型

B班は主に重松さんのタオル作業、英光商事さんのPE袋作業を行っています。その他ラクヨさんのチラシ折りや、林商会さんからの箸袋入れ、最近ではオーアイ工業さんから袋の小さな穴にフックをつける作業も増え、いろんな作業に取り組んでいます。各利用者さんの強みを生かして皆で協力し合い、たくさんさんの作業と、即売の自主製品づくりも頑張っています。

(平田係長 記)



小窓だより

今年度の意気込み

令和八年四月、四ツ葉園生活支援センター「小窓」は皆様のご支援、ご協力のおかげで無事に三年目を迎える事が出来ました。利用者さんも小窓での過ごし方にも慣れた様子で、たくさんさんの表情を見せてくれるようになりました。

今年度は新たな行事として、紅葉狩りを計画しています。また開所時から行っているおやつ作りやプレゼント作りなどの行事においても、利用者さんが選択し、新たに挑戦できる事に重点を置き、企画しています。

これからも利用者さんの新たな面を多く見つけられるよう、行事や活動、日々の班活動の中で「+α」の挑戦を積極的に行っていきたいと思っています。

(信清支援員 記)



グループホームだより

GW外出



どのCDに
しようかな？

猫可愛いなあ♡



GW帰省が無い方も少しでも楽しんでもらえるよう、五月三日(日)ファボーレへ外出しました。GWということもあり、たくさんの方で賑わっていました。お店の隅から隅まで歩き回り、雑貨や本、CDやDVDなど各々が欲しい物、興味があるものを見たり、気に入ったものは購入したりしてショッピングを楽しみました。

昼食はフードコートでそれぞれ好きなメニューを選び、全員が異なるランチを食べました。いつもは同じメニューと一緒に食えることが多いですが、今回は「それにしたんだ！美味しうだね！」と、いつもと違った楽しい会話がたくさん聞かれました。



帰宅後は外出での出来事を皆で振り返りながら「また行きたいわ」「楽しかった」等の発言が見られ、良い気分転換を図れた日になったと思います。

(井原支援員 記)

地域連携推進会議

四ツ葉園 四月二十一日(火)

今年度の地域連携推進会議では、令和六年度から取り組んでいる(株)しまむら上市店様による出張販売の様子を見ていただきました。

しまむら津田店長からは「利用者さんや職員の笑顔が励みになっている」と温かいお話がありました。利用者代表のお二人も「服が買えてうれしい」と笑顔で話され、お気に入りの一着を見つけた様子でした。委員の皆さまからは、「重度の障害があっても、自分で選ぶ姿が印象的だった」「企業と地域が一緒に取り組む良い活動だと感じた」「言葉のない利用者とも職員と目と目で分かり合えていた」などの声が寄せられました。支払い方法についての質問もあり、しまむら販売ではレジに並んで会計や商品の受け渡しの体験をメインに、とくし丸販売では現金でのやり取りをゆっくりに一人ずつ行っていることな

ど、支援者が付き添いながら買い物をサポートしていることをお伝えしました。

利用者代表

・碓井 文子様 ・高野 剛様

保護者代表

・土肥 峯雄様

地域の関係者

・上市町民生委員協議会会長 野越サト子様

・上市町社会福祉協議会 小松 史子様

・上市町福祉課 酒井 佑捺様

・(株)しまむら上市店店長 津田咲都美様

新川会

・理事長 山岸 親史



『絵：H.Hさん』



特集

新川会商品紹介

四ツ葉園

裂き織りコースター

裂き織りとは、日本の伝統的な手織り技法です。古着や不要になった布を細かく裂いて、紐状になったものを機織り機を使って一つ一つ丁寧に仕上げています。



雷鳥苑



にんにくチップ・にんにくパウダー

雷鳥苑の畑で穫れたにんにくをチップやパウダーに加工しました。にんにくの品種にもこだわっており、「福地ホワイト六辺」を使用しています。

唐辛子

こちらも雷鳥苑の畑でとれた鷹の爪をそのまま乾燥したものを一味唐辛子や輪切りにして、多岐にわたる用途に使用できるようにしています。



玉ねぎ

今年度もたくさんの玉ねぎが収穫できました。利用者さんと一緒に収穫を行い、玉ねぎの頭を切ったり、ひげ根を処理しています。毎年、購入者には大好評の商品です。

木工品

糸鋸の木工品をつくっています。とやま方言キーホルダーは富山弁という身近な題材を組み合わせ、木工品に楽しさを加えています。



さつき苑



野菜

野菜の生産販売を行っています。今年は玉ねぎ、ジャガイモ、サツマイモ、菊芋、さといもを育てています。また乾燥加工品も製造しています。「さつき苑といえばさつまいも」といわれるほど味には自信があります。



入浴雑貨

入浴雑貨の製造、販売を行っています。ヨモギ、当帰、ラベンダー、ヒノキの香りが楽しめます。